

「世界一大きな授業の教え方」

女の子と女性の教育をテーマにしたモデル授業の実践紹介

今セミナーでは、先生方や開発教育に関心のある方への参考として、2011年4月18日(月)～24日(日)に実施された「世界一大きな授業」の実施報告のほか、教材開発を行ったNGOスタッフが授業のデモンストレーションを行います。その後、開発途上国の教育についての効果的な学習のあり方について参加者と話し合います。参加者には、「世界一大きな授業」の教材セット(ポスター教材2枚、教員向け手引書、映像教材、ワークシート)もご提供します。ぜひご参加ください。

日時	2011年7月10日(日) 14:00～16:00
場所	立教大学 太刀川記念館 多目的ホール3階 (豊島区西池袋3-34-1) 池袋駅西口より徒歩7分 
定員	50名(先着順)
参加費	無料
プログラム (予定)	1)「世界中の子どもに教育を」キャンペーン2011実施報告 2) ワークショップ(授業体験) ～2011年度テーマ「女の子と女性の教育」の授業実践から～ 実践者: 西口 祐子(セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン) 3) 質疑応答
お申込み	下記までEメールにてお申し込みください。件名に「ESD研究会7/10」と入れていただき、お名前、ご所属、ご連絡先(メールアドレス)をお送りください。立教大学ESD研究センターのウェブサイトからもお申込みいただけます。 立教大学ESD研究センター(ESDRC) E-mail: esdrc@grp.rikkyo.ne.jp URL: http://www.rikkyo.ac.jp/research/laboratory/ESD/

(※)「世界一大きな授業」とは:

今日世界では、6700万人の子どもたちが学校に通えず、その54%は女の子です。教育分野の国際協力NGO27団体で構成する教育協力NGO ネットワーク(JNNE)は、2003年より毎年4月下旬に、「世界中の子どもに教育を」キャンペーンを実施しています。今年は、4月18日(月)～24日(日)に女の子と女性の教育について考える「世界一大きな授業」を実施し、日本の小中学校270校から約3万5千人の児童・生徒が、世界では100カ国以上の国と地域がキャンペーンに参加しました。

主催: 立教大学ESD研究センター(ESDRC)、教育協力NGOネットワーク(JNNE)